

令和5年度（2023年度）函館市地域包括支援センター事業評価 評価結果概要

函館市地域包括支援センター神山

1 センターの概要（令和6年（2024年）3月31日現在）

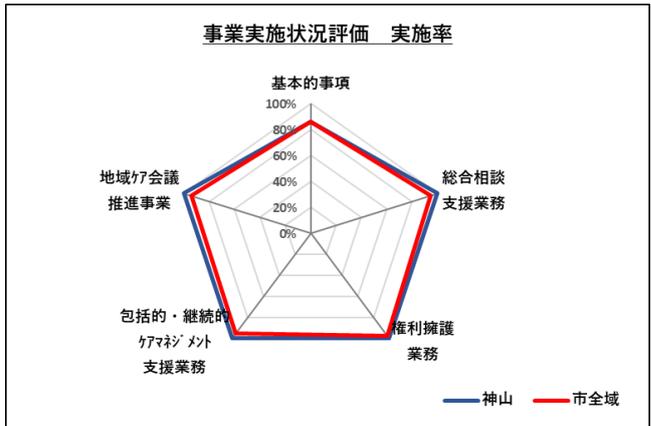
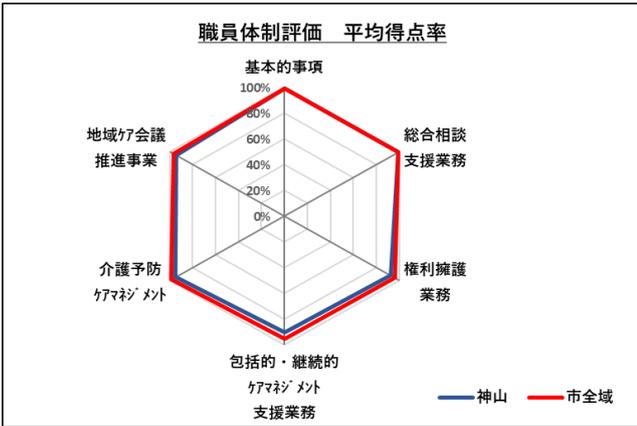
運営法人	社会医療法人仁生会	所在地	函館市神山1丁目25番9号
担当圏域	北東部第3圏域（人口：30,420人・高齢者人口：11,423人・高齢化率：37.6%）		
配置基準職員数	7名（保健師等2名・社会福祉士2名・主任介護支援専門員2名・事務員1名）		
配置基準外職員数	2名（社会福祉士1名・主任介護支援専門員1名）		

2 評価結果概要

(1) 職員体制評価・事業実施状況評価

事業種別	職員体制評価 平均得点※			事業実施状況評価 実施率		
	配点	神山	市全域	項目数	神山	市全域
基本的事項	45.0点	44.5点	44.5点	7項目	85.7%	85.7%
総合相談支援業務	30.0点	29.7点	29.7点	13項目	100.0%	94.6%
権利擁護業務	30.0点	27.7点	28.8点	13項目	100.0%	97.7%
包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	21.0点	19.0点	20.1点	7項目	100.0%	95.7%
介護予防ケアマネジメント	15.0点	14.3点	14.8点	—	—	—
地域ケア会議推進事業	18.0点	17.0点	17.3点	10項目	100.0%	94.0%
合計	159.0点	152.2点	155.2点	50項目	98.0%	94.0%

※評価尺度の1を3点，2を2点，3を1点として個人の得点を算出し，全職員の得点の合計を職員数で除したものの。



【基本的事項】

○ 効果的な取組

- ・経験が少ない職員は，ネットワーク構築等に対する苦手意識があることから，職種に関わらず，全職員で各事業に取り組む体制としている。地域および事業担当ともに複数職員での担当とする等，苦手意識を持たずに取り組めるよう努めている。

【総合相談支援業務】

○ 効果的な取組

- ・広報紙について，全戸配付によりセンターの活動を広く周知しており，広報紙を相談経路とする相談件数が増加している。

○ 課題等

- ・新規ネットワーク構築機関数が少ない。圏域内に社会資源が少ないという特徴もあるが，圏域外の社会資源にも目を向け，積極的にネットワークを拡充する取組が必要である。

【権利擁護業務】

○ 効果的な取組

- ・緊急を要する事例については、職種に関わらず全職員で取り組む意識の下、チームアプローチを強化している。複数職員、複数職種による対応とするため、センター内の連絡、相談体制を整えるよう努めている。

○ 課題等

- ・職員により、虐待事例や成年後見事例を担当する経験に差があることから、対応に著しい差が生じないように、対応能力の平準化を図る必要がある。

【包括的・継続的ケアマネジメント支援業務】

○ 効果的な取組

- ・圏域内の居宅介護支援事業所への訪問による処遇困難事例等のアンケートの実施や、座談会を開催している。介護支援専門員と顔を合わせる機会を多く持つことにより、相談しやすい体制づくりや、その後の連携強化につながっている。

○ 課題等

- ・圏域のケアマネジメント研修について、介護支援専門員の参加は少しずつ増加しているが、参加に至らない事業所もあることから、連携や協働を図ることにより、介護支援専門員としての意識や技術の向上を働きかける必要がある。

【地域ケア会議推進事業】

○ 効果的な取組

- ・地域課題の検討を行う地域ケア会議において、地域の高校生と町会による新たなプロジェクトが発足し、協働した取組を進めていくなど、地域課題を解決するための地域づくりや資源開発に結びつけることができています。

○ 課題等

- ・地域課題の検討を行う地域ケア会議に関わる職員に偏りがあるため、経験が少ない職員を新たに担当とする等、全体としてのスキルアップを図る必要がある。

(2) 運営体制評価

- ・基準を上回る3職種の配置など、センター事業を円滑に実施できる体制が確保されている。
- ・現場の要望も踏まえ、職員が働きやすい職場環境を整えるなど、適切な業務管理が行われている。
- ・外部研修への参加の機会を確保するなど、教育・研修体制が整備されている。
- ・同一法人のサービス事業者の利用割合は20%未満であり、公正で中立性の高い運営が行われている。